

2016年12月

地震リスクマネジメントに関する研究

情報学部 経営情報学科 幡鎌ゼミ
B3P21044 車田 靖宏

[卒業論文概要]

日本は甚大な被害をもたらす大震災が多い地震大国である。今後も首都直下型地震や南海トラフ地震の発生が危惧される。そのため、地震リスクマネジメントを行うべきである。そこで、行政と企業の2つの視点からみた地震リスクマネジメントの研究を行った。まず、地震リスクマネジメントにおける重要なキーワードをまとめた。その中でもリスクコミュニケーションは欠かせないもので行政も企業も日頃から地震発生時の取り決めなどを決めておくべきである。そうすることで地震が発生したときにスムーズに動けるようになる。次に地震リスクマネジメントの方法をまとめた。例として財務影響分析とイベントツリー解析を挙げた。震災発生時、どんな被害を受けたかと想定し分析を行うものである。次に、行政と企業の防災目標をまとめた。行政の防災目標では東京都の「震災復興マニュアル」と宮城県の「自主防災組織」を例として挙げた。どちらも防災の3助である「自助」「共助」「公助」が用いられ、重要なポイントとなっている。企業の防災目標では、BCPが重要となり事例をまとめた。さらに企業は地域との連携も求められる。次に石巻での自分の震災体験をもとに感じたことや課題をまとめた。学校での避難生活やライフラインのストップなど大変だったことをまとめた。そして、私たちはこれまでの震災の反省を学び、今後予測される大震災に備えて事前に対策を練る必要がある。